



下田・城島校区イラストラップ

おすすめスポット
下田・城島校区

芦塚の阿弥陀如来坐像・浜天満宮の狛犬
下田天満宮・下田城跡・船端高札場跡
城島天満宮の鳥居・城島城跡・庄屋門

18	伊我理神社	江戸時代	真田幸村の一族と伝えられる真田直行が、境内に庵を建て不動明王を祀り、豊臣家再興を祈念したといわれます。
19	おせん荒籠跡	江戸時代	筑後川に多く見られる護岸跡です。「おせん」という商家の娘にちなんで名づけられています。
20	久保遺跡	弥生・古墳・中世	主な遺構には井戸・土坑・溝などがあります。弥生時代の溝からは擬朝鮮系無文土器など多数の遺物が出土しています。
21	庄屋門	江戸時代	西牟田氏の家老・流氏の一族が作ったもので、「庄屋門」とよばれています。
22	小柳遺跡	弥生・中世	弥生土器・土師器が散布しています。

■貴重な指定文化財たち■

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな文化財です
2	芦塚の石造阿弥陀如来坐像(市指定)	有形民俗文化財(平成16年8月9日指定)	舟形光背を伴い、蓮華座に鎮座します。弘治4年(1558)2月の紀年銘があり、頭部周辺に断片的に刻字が認められます。顔立ちは全体として愛らしさを感じます。
7	浜天満宮の石造狛犬(市指定)	有形民俗文化財(平成9年10月1日指定)	浜天満宮の楼門に安置されています。製作者・願主は不明ですが、肥前狛犬の系譜を引くもので、江戸中期の作と推測されます。
12	城島天満宮の石造鳥居(市指定)	有形民俗文化財(平成9年10月1日)	元禄10年(1697)に城島組大庄屋・大石藤右衛門らによって寄進されたものです。製作年代の古さとともに、江戸期の石文資料の貴重な文化財です。

■下田・城島校区の歴史年表■

時代	西暦	下田・城島校区のできごと	日本のできごと
旧石器	20000	八女丘陵で打製石器が使用される	狩り・漁労・採集等で生活する土器や弓矢を使い始める
	10000	筑後川流域に沖積平野が形成される	日本列島がほぼでき上がる
縄文	紀元前	大依に貝塚が残される	稲作が伝わる
	紀元後	久保遺跡に集落が営まれる	倭国大乱
弥生	200		卑弥呼が邪馬台国を治める
	300		古墳がつくられ始める
古墳	500		筑紫君磐井の乱(527)
	600		仏教伝来(538)
飛鳥			群集墳が盛んに造られる
	700		乙巳の変(645)
奈良			白村江の戦いで大敗北(663)
	700		筑紫大地震(679)
平安			筑後国府がつくられる
	900	豊島真人時連の子時祐が城島姓を名乗る	平安京に都を移す(710)
鎌倉			筑後国分寺がつくられる
	1300	高津・大依・芦塚等の名が見え始める	平安京に都を移す(794)
室町	1400	下田城が築城される	
	1500		鎌倉幕府の成立(1192)
安土桃山			室町幕府の成立(1336)
	1600	城島城が築造される	応仁の乱(1467)
江戸			豊臣秀吉の天下統一
	1800	城島天満宮石造鳥居が寄進される	江戸幕府の成立(1603)
明治以降			明治維新(1868)
	1900		
	2000	平成の大合併により久留米市と合併	平成の大合併(2005)